



令和7年3月5日 市長定例記者会見

健康福祉部地域共生推進課

電話：082-493-5621



地域共生社会の実現に向けた機運醸成のためのフォーラムの開催

1 概要

この度、地域共生社会の実現に向け、令和7～11年度を計画期間とする「東広島市地域共生社会推進計画」を策定した。地域共生社会の推進にあたっては、地域住民や地域の多様な主体が世代や分野を超えてつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて、学び合い、支え合い、感謝し合える「シアエル関係」を築いていくことが重要である。

本市においては、これまで住民自治協議会や市民活動団体等との連携によるまちづくりを進めてきたが、担い手不足もあり、地域活動に現役世代を巻き込んでいくことが課題となっている。

また、昨今、不登校・ひきこもりの問題が注目されており、令和5年度の児童生徒の不登校者数は過去最大の34万6,000人、ひきこもりは令和4年度調査で146万人（推計）とされ、中には、不登校からひきこもりへと至るケースもある。

本市のひきこもりの相談件数や不登校者数も増加しており、地域住民や多様な主体による居場所づくりをはじめ、当事者の生きづらさや家族の関わり等に寄り添いながら、関係機関による連携により支援していくことが求められている。

こうしたことから、地域共生社会の実現に資するフォーラム及び講演会を開催する。

2 開催内容

(1) 地域共生フォーラム「頼るスキルの磨き方」

他者を頼る力、いわゆる「受援力」を発揮しながら、地域活動において他者や地域を巻き込んでいくためのスキルを磨く講演及び地域の活動者による実践報告等を行う。

- ・日時 3月9日（日）10：30～12：30
- ・場所 アザレアホール
- ・講師 神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 吉田穂波教授
- ・対象 地域で活動するコア人材（民生委員、自治協、市民活動団体等）等
- ・定員 200人



吉田穂波さん

(2) ひきこもり支援講演会「経験者が語るひきこもり～解決ではなく共にあること～」

不登校・ひきこもりに対する理解促進を図るため、不登校・ひきこもりの当事者でもあり、現在は支援者として活動されている方による講演会を実施する。

- ・日時 3月29日（土）13：00～15：10
- ・場所 アザレアホール
- ・講師 一般社団法人ひきこもりUX代表理事 林 恭子さん
- ・対象 ひきこもりの当事者、家族、支援者等
- ・定員 200人



林 恭子さん



助けて!

といえるチカラで
輪が広がる。

東広島市地域共生フォーラム

頼るスキルの磨き方

令和7年3月9日(日)

10:30~12:30(開場10:00)

東広島市市民文化センター3F
アザレアホール

東広島市西条西本町28-6
(サンスクエア東広島)

・自然災害等、不測の事態により、やむを得ず内容の変更または開催を中止する場合がございます。予めご了承ください。

参加
無料

定員
200
名

講師

神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 教授
吉田 穂波 さん



お問い合わせ先

TEL.082-493-5621

事務局:東広島市 健康福祉部 地域共生推進課(8:30~17:15)

お申込みはこちら
お申込み締め切り3月7日(金)



東広島市 健康福祉部 地域共生推進課

頑張るあなたにこそ必要な「受援力」

受援力とは「頼るスキル」、「助けて」と声を上げるチカラのこと。

人は心身の不調や経済的なリスクなどを抱えて追い込まれたとき、誰かに頼るという発想そのものが消えてしまい、そう簡単に「助けて」と言えないことがあります。「受援力」は、こうした事態を防ぐためにも必要なスキルですが、実は地域・社会活動が始める際の仲間づくりにも役立ちます。このフォーラムで「受援力」の磨き方や、「受援力」を発揮することで広がる活動地域について、一緒に学んでみませんか。

第1部:基調講演



神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
吉田 穂波 さん

三重大学医学部卒業後、聖路加国際病院で臨床研修ののち、名古屋大学大学院医学系研究科で博士号取得。2008年からは3人の子どもを連れてハーバード大学公衆衛生大学院に留学。2011年の東日本大震災では産婦人科医として国内外のネットワークをつなぎ被災妊婦や新生児支援に携わる。このとき「受援力」の重要性を感じ、この受援スキル向上のためのリーフレット作成や研修を行うようになる。国や自治体での活動も多数。

第2部:地域の活動者実践報告



一般社団法人Deltal代表理事
堀江 里香 さん

東広島市役所に14年勤務し、自治組織支援や地域政策、広報業務、施設保全、業務契約事務等に従事。退職後、Deltalを立ち上げ、自治組織や市民団体を中心とした中間支援活動に取り組む。



こどもの家 のはら
伊藤 八郎 さん 岡本 邦代 さん

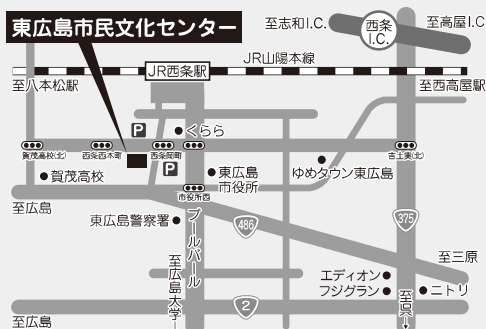
児童虐待防止を目的に活動するボランティア団体。2018年に活動をスタートし、児童虐待の現状や里親制度について学ぶ勉強会などを実施。2021年のコロナ禍に経済的支援を目的としたお米の配布会を開始。行政、市社協、NPO、子ども食堂さんとコラボしながら年に数回、親子がのんびりできるイベントを開催。



東広島市地域共生フォーラム 頼るスキルの磨き方

当日のプログラム(予定)

- 10:30 開会
- 10:35 基調講演
- 11:35 地域の活動者実践報告
トークセッション
- 12:30 閉会



こんな取組の
チカラになります!
東広島市の地域共生社会
ポータルサイト「シアエール」



わたしたちも
チカラになります!
社会福祉法人
東広島市社会福祉協議会
公式Instagram



車でお越しの方は、サンスクエア駐車場、市営西条岡町駐車場をご利用ください。(駐車券は会場にお持ちください。)

経験者が語るひきこもり

- 解決ではなく共にあること -



不登校・ひきこもりから、
もう一度この社会で生きて
みようと思えるまで

参加無料

定員200名

* 事前申し込み制ですが、
会場に余裕がある場合は、
当日参加も可能です。

手話通訳・要約筆記あり

日時

令和7年3月29日（土）
13:00～15:10（開場 12:30）

会場

東広島市市民文化センター 3F
アザレアホール

東広島市西条西本町28-6
（サンスクエア東広島）

講師紹介

講師： 林 恭子 さん

一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事

高校2年生で不登校、その後30代まで断続的にひきこもる。信頼できる精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い、少しずつ自分を取り戻す。2012年から、「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。

東京都ひきこもりに係る支援協議会委員/就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム議員/東久留米市男女平等推進市民会議議員/厚生労働省「ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修事業」著書『ひきこもりの真実-就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）『「ひきこもりの30年を振り返る」（岩波ブックレット）他



お申込みは裏面をご覧ください ➡

オンラインフォームからのお申し込み

こちらの二次元コードを、スマートフォンで読み込んでお申込みください。



申込用二次元コード

上記の方法が難しい場合

オンラインフォームからのお申し込みが難しい場合は、
下記に必要事項をご記入の上、下記メールアドレスにお申し込みください。

メール : hottoken.st@city.higashihiroshima.lg.jp

* オンライン・メールでの申し込みが難しい場合は、別途お問い合わせください

メール申込み時の必要事項

- 1 氏名（ニックネーム可）
- 2 連絡先（電話番号もしくはメールアドレス）
- 3 お住まいの地域（①か②を選択）
①東広島市内在住、
②東広島市外在住
- 4 所属（①から⑥で最も近いものを1つ選択、ない場合は⑦で記載）
①当事者/経験者 ②当事者の家族
③福祉関係者 ④学校・教育関係者
⑤行政関係者 ⑥民生委員・児童委員
⑦その他（ ）

*メールの件名に、3月29日講演会申込みと入力をお願いします

申込期限： 3月28日（金）

注意事項

※当日参加も可能ですが、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります。
 ※自然災害等不測の事態によりやむを得ず内容の変更または開催を中止する場合がございます。
 予めご了承ください。
 ※お車でお越しの際は、市民文化センター駐車場もしくは市営岡町駐車場をご利用ください。
 ※市営岡町駐車場をご利用の方は駐車券を会場にお持ちください。
 ※駐車場台数に限りがありますので、なるべく乗り合わせてご来場ください。

お問合せ

東広島市西条栄町8番29号 市役所本館 2 階
健康福祉部 地域共生推進課（HOTけんステーション）
TEL: 082-493-5621
メール: hottoken.st@city.higashihiroshima.lg.jp



東広島市のひきこもり支援に関する情報は「シアエール」で

